

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	低炭素社会国際研究ネットワーク事業	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	地球環境局	担当課室	総務課研究調査室	室長 小野 洋		
会計区分	一般会計	上位政策	地球温暖化対策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計画、 通知等	京都議定書目標達成計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	各国が低炭素社会を実現することを目的とし、研究機関間の研究情報交換、研究協力の促進、参加機関と各界のステークホルダー間の対話促進、各国による研究の成果発信等を通じて、2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量を半減するというG8で合意された長期目標達成を現実のものとするための研究を国際的に推進し、G8をはじめとする国際政策プロセスへの貢献を目指すものである。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本事業では、低炭素社会国際研究ネットワーク(以下LCS-RNet)の事務局の運営を行い、関係国の参加研究機関が参加する年次研究者会合の開催や、研究交流の促進支援、研究成果の取りまとめや発信、アウトリーチ国におけるキャンペーンを行う。また、LCS-RNetに開発途上国を取り込んだ地域内研究協力の促進を行うため、アジアにおける低炭素社会研究基盤の構築を行う。					
実施状況	平成21年4月に正式発足したLCS-RNet事務局として、ステークホルダー対話の開催や地域ごとの情報収集を行い、それらの成果を平成21年10月イタリアでの第1回年次会合にて報告を行った。また、活動の成果をホームページやネットワークの統合報告書、LCSガイドブックを活用し、広く一般に発信した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	118	118	118
	執行額	-	-	118		
	執行率	-	-	100%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	118		
自己点検	支出先・ 使途の把握 水準・ 状況	事業仕様書に基づき、進捗や方向性について確認を行うとともに、ステークホルダー対話の報告書や年度毎の事業報告書の提出を受けることにより、事業成果の把握を行っている。また、LCS-RNet参加機関が参集し、研究機関間の情報交換、研究協力の検討、国際政策への提言のとりまとめ等を行う年次会合に、環境省からも出席し、研究の進捗や研究成果の発信状況等の確認を行っている。				
	見直しの 余地	低炭素社会を実現するためには、研究交流の促進支援や、成果の取りまとめ発信、開発途上国を取り込んだ研究協力の推進が必要である。そのためには、ネットワークの存在とその意義の広い認知とともに幅広い主体の参画が必要であり、質の高いアウトプットや情報提供が求められるため、情報を提供する体制を整備し、ホームページ等を活用し発信強化を行っていくとともに、重点的に取り組むべき研究課題の特定や、ネットワーク活動の全体計画の進捗状況を常時フォローアップし、必要に応じ改定・修正を行う等、効果的に本ネットワークの成果をG8環境大臣会合や気候変動に関する国際交渉プロセス等へ発信していくことが必要。				
予算監視の 所見 効率化 策	一部改善 (引き続き効率的な事業実施に努めること。)					
補記						

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

環境省
126百万円

平成21年度低炭素社会国際研究ネットワーク運営実施業務
【内容】
LCS-RNetの運営・実施において研究交流の推進支援、研究成果の取りまとめや発信、アウトリーチ国におけるキャパシティービルディングやアジアにおける低炭素社会に関する研究協力の促進を行う。

【企画競争・請負】

A. (財)地球環境戦略研究機関
126百万円

【業務内容】
・LCS-RNet事務局の設置・運営
・研究協力やアジアにおける低炭素研究基盤の構築のための会合・対話・ワークショップの実施
・活動のアウトプットとして、報告書の作成やホームページの開設、ニュースレターの発信、会合での発表

※一部、他事項予算と併せて執行

費目・使途
(「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. (財)地球環境戦略研究機関			C.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	低炭素社会国際研究ネットワーク事務局運営	126			
計		126	計		0
B.			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0